



京都府立医科大学附属北部医療センター

病院長からのメッセージ

京都府立医科大学附属北部医療センターは、信頼される全人的医療を理念として、京都府北部の中核病院として救急告示病院、地域災害医療センター、京都府周産期二次病院など多くの病院機能を有しています。

また、京都府立医科大学の附属病院として、指導医はすべて府立医科大学の教員であり、新たに医大大学院の北部キャンパス地域医学コースも開設され、診療・教育・研究の体制を益々充実させています。

特に、総合医療、高度医療の充実を進めており、地域医療学講座の開設などで、総合診療力を備えた医師を育成し、全国から優秀な医師が集まるフィールドを構築することを目指しています。



病院長 落合 登志哉

【病院理念】 信頼される全人的医療
(Reliable and holistic medical care service)

病 院 概 要

所在地	京都府与謝郡与謝野町字男山481	開設年	平成25年 (昭和28年旧京都府立与謝の海療養所開設)
開設者	京都府公立大学法人	病床数	288床(一般276床、結核8床、感染症4床)
病院長	落合 登志哉	診療科	総合診療科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・呼吸器内科・神経内科・外科・消化器外科・脳神経外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・精神科・放射線科・麻酔科・救急科・病理診断科・歯科口腔外科(22科)
医師数	66名、研修医12名		
入院患者数 (6年度)	67,802 人(年間)	外来患者数 (6年度)	133,888 人(年間)

(令和7年4月1日現在)

研修プログラムについて

京都府立医科大学附属病院群研修プログラムと共通項目を多く取り入れるとともに、当院独自のプライマリ・ケアに重点を置いた総合診療、救急診療をそれぞれの科目に取り入れ、全人的な初期対応のできる臨床能力を身につけることができます。

1年次又は2年次にたすきがけ協力病院で研修するプログラムも用意しています。

また、丹後地域以外での地域医療も学べるよう、宮古島等離島・僻地の協力施設とも連携しています。

研修週数	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	必修科目											
	内科(24週)						救急部門(麻酔科含む)(12週)		外科	整形外科	麻酔科	
2年次	必修科目				選択科目(40週)							
	小児科	産婦人科	地域医療	精神科								

【スタンダードプログラムを選択した場合】 院外研修については、原則2ヶ月を上限とする

【ベーシックプログラムを選択した場合】 院外研修については、地域医療のみとする

【たすきがけ協力病院】

京都府立医科大学附属病院、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都岡本記念病院、宇治徳洲会病院

【選択科目】

総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神科、麻酔科、皮膚科、救急科、放射線科、病理診断科、地域医療・保健

研修・認定施設

- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本麻酔科学会麻酔認定病院
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本整形外科学会研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本神経学会准教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医指定認定施設
- ・日本精神神経学会研修施設

ほか

主な指導医

病院長	落合 登志哉	(外科・プログラム責任者)
副病院長	黒星 晴夫	(産婦人科)
副病院長 兼診療部長	堅田 和弘	(消化器内科)
准教授	丹羽 文俊	(総合診療科)
講師(医長)	吉岡 真実	(麻酔科)
助教(医長)	大江 照	(救急科)

(令和6年5月1日現在)

北部医療センター 正面玄関



◆先輩研修医からのメッセージ



辻 克規
研修医(2年目)

当院は丹後医療圏の中核病院として、幅広い症例を経験できるのが大きな魅力です。また研修医を含めて若手医師が第一線で診療にあたる機会が多く、上級医からの丁寧な振り返りを元に様々な手技を経験・習得することができます。勉強会を通じて他の医師と症例検討や知識の共有ができ、不安なことも多い研修医生活に対し充実したサポートを受けることができます。ぜひ一緒に自然豊かなこの地域で実りある2年間を送りませんか？



彦素 史弥
研修医(1年目)

当院の研修は、診療科を越えた手厚い指導のもと、丹後医療圏の多様な症例を豊富に経験できます。若手にも裁量が与えられ、指導医やスタッフからの丁寧なフィードバックで実践力と責任感を養える環境です。勉強会や症例検討会も充実しており、自然豊かな地域で温かい雰囲気の中、充実した研修をすることができますと思います。

北部医療センター 位置図



処遇

常勤・非常勤の別: 有期雇用職員(非常勤)

給与: 417,750円/月

手当: 副直手当 15,700円/回

時間外勤務手当、救急勤務医手当を支給

※ただし、たすきがけ協力病院で研修を行う給与等は当該病院の規定による。

モデル年収: 約600万円

勤務時間: 8:30~17:15 (7時間45分)

休暇: 有給休暇 年間10日、夏期休暇等あり

宿舎: 月額27,000円(共益費・駐車場代含む)

社会保険: 公立学校共済(短期)、厚生年金、雇用保険、労災保険適用

子育てサポート

設備: 院内保育所 月~土 8:00~18:00

(日曜、祝日、年末年始を除く)